



おわりに

本日はこれまでのHZ・S研究会の総まとめとして、帯状疱疹・単純ヘルペスのエキスパートの先生方にご発表いただき、討議いたしました。私自身も本研究会に参加することで、ヘルペスウイルス感染症に関する新しい知見を得て、まだ課題が多く残されていることを認識することができました。ヘルペスウイルス感染症への関心は一層強いものとなり、まだまだ尽きることがなさそうです。今後は帯状疱疹や単純ヘルペスワクチンの導入、新しい抗ヘルペスウイルス薬の登場、診断精度の向上などにより、帯状疱疹および単純ヘルペスに対する抗ヘルペスウイルス療法も大きな転換を迎えるのではないかと考えています。より適正な抗ヘルペスウイルス療法の確立を目指し、引き続き我々はメッセージを発信していきたいと思えます。

川村 龍吉

